

# 平成23年度第1回「仙北市立病院等改革推進計画」検証市民委員会

## 議 事 録

◆日 時 平成23年8月26日（金）13：35～14：55

◆場 所 田沢湖健康増進センター 地域交流プラザ

◆出席者 【委員】委員長他5名 合計6名  
【市】 病院事業管理者・両病院事務長等・医療局職員（事務局）

◆検証事項 1) 病院事業の決算状況について  
2) 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について  
3) その他

\*\*\*\*\*

—委嘱状交付—

皆様、本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。会議を始める前に、委員の皆様へ管理者から委嘱状をお渡しいたしますので、よろしくお願ひします。

～管理者が委員一人ひとりに委嘱状を交付～

—委員紹介—

—職員紹介—

### 1. 開会（13：35）

#### 2. 管理者あいさつ（病院事業管理者）

2、3日前までは、涼しかったのですが、また残暑が厳しくなりました。お忙しい中、残暑の厳しい中、足を運んでいただき心から御礼申し上げます。この検証市民委員会と検証専門委員会と2つがありまして、年に2回ずつ開催しているのが現状です。この仙北市は、3万人の人口で、3月末には2万人台に下がってしまうようで、月30人ずつ減っている状況です。しかも土地が広い、2つの病院、5つの診療所をかかえております。これは非常に効率の悪い、しかし広いからどうしようもない。病院の一つを診療所にする訳にもいかない。今の財政、医療診療制度では、大変苦しい。今日も決算状況をご説明いただきますが、ホントに苦しい状態です。何とか皆様のお知恵を借りて、少しでも決算状況をよくしたいと思っております。自治体病院だから赤字でいいんだというのは、昔の話で、自治体病院だとしても、とんとん以上に行かなくてははいけない。これが自治体病院の今の考え方であり、私の考えでもあります。何と

か人を引きつけるのは、まだまだ先のことだが、やはり企業の誘致、病院の整備というのにもかかっている。また教育を受けられる。子供が安心して生活できる。このようないろいろな条件があり、それを満たすのは、まだまだ先の状態かなと思っています。そういう事もあります、何とか現状から抜けだし、この仙北市の医療、病院の状態をよくしていこうと思っています。これからは、二つの病院であります、やはり棲み分けをしながら、こちらと向こうの病院との連携を取って、行かなきゃいけないと思っています。委員会の皆様からいろいろなご意見がございましたら、医療局の方へお申し出いただきたい。また医療局の方でも考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 3. 委員長及び委員長職務代理者の選任

#### 4. 検証事項

委員長

それでは、会議次第日程第4検証事項に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

—資料説明（事務局・医療局）—

- 資料1 「平成22年度仙北市病院事業の総括事項」
- 資料2 「市立病院等改革推進計画の数値目標に対する実績」
- 資料3 「市立病院等改革推進計画【数値目標】」
- 資料4 「両病院年次別外来・入院患者数の推移」
- 資料5 「両病院地区別利用者数（外来・入院）の推移」

委員長

ただ今、資料について1～5まで説明いただきました。皆様から質問あるいはご意見等を伺いながら進めていきたいと思えます。

委員

角館総合病院の外来、田沢湖病院の外来が少しずつ1年ごとに減って来ているのは、人口減が影響しているということなのではないでしょうか。

事務局（医療局）

もちろん人口推移もあると思いますが、一番大きいのは、今どうしても医師、看護師等のスタッフの充足率がままならない状況であります。その一つの手段として、市民の皆さんにかかりつけ医を持ってほしいと、広報でもお願いしております。特に外来を抑制しているという状況であります。

委員長

〇〇さん何かありませんか。

委員

田沢湖の入院が増えているのは、障害者を受け入れているのが要因でしょうか。

委員長

田沢湖病院については、障害者が長く入院しているので、数字が上がっている。いい結果になっているということですね。たしかに努力の跡が見えますね。

委員

田沢湖病院もだいぶ頑張っているなと思いました。

委員長

質問、意見がなければ、前へ進めます。ないようですので、次の説明を事務局にお願いします。

## 2) 仙北市立病院等推進計画の進捗状況について

—資料説明（事務局：医療局）—

資料6 「市立病院等改革推進計画進捗状況」

資料7 「市立病院収支決算（過去3年分）」

委員長

ただいま資料6について説明をいただきました。委員の皆様からご意見、ご質問を伺います。何かありませんか。

委員

昨年のイメージと今日のイメージと顔ぶれが違います。なんか少しずつ、人口減はそれとして。内側の体制その他やり方もスリムにして、少しでもプラスに二つの病院を両立させていこうという迫力が見えていると今の説明を聞いて思いました。いいことだと思います。業務委託を一本化する。たぶんスリムなほど経費の無駄が少しでも省ける。少しずつプラスに動く気がします。進み方がいいと感じました。田沢湖と角館と同じレベルで比べなくても、田沢湖の特徴を少しでもアップしていくと、障害者をちょっとだとか、田沢湖の特徴、イメージを少し変えると同等には無理だが、2つある価値が見えると思います。今日の説明を聞いて、プラスに行っているなと感じました。感想です。

委員

資料6の⑤の所で、7対1と13対1はどういう意味合いなのか、説明してほしいです。

#### 事務局（医療局）

病院ではそれぞれ看護基準、施設基準というのがあります。勝手に人員を配置するとかできません。患者さん7人に対して職員を1人配置する。また患者さん13人に対して職員を1人配置するという事です。当然一人の人数が少なくなってくれば、手厚い看護ができます。特に角館病院の7対1は現在最高の基準です。そのためにスタッフが足りないということにもなりかねないので、スタッフの充実を図らなければいけないという思いでいます。

#### 委員

田沢湖病院の13対1も適正の範囲ということですか。

#### 委員長

適正というより、今現在そういう状況でこれから数値が変わっていく可能性もあるということに解釈してもいいですか。

#### 委員

3番の民間委託の所で、田沢湖病院の給食委託について1年がたったが、経費節減ということでどこかに無理がいて、内容が落ちたというクレームは出ていませんか。

#### 事務長（田沢湖病院）

基本的に業務委託したものと直営でやっていたものとの違いは、臨時職員を直接雇用しているか、その部分を会社でいくらでやるかという競争で安くしていただいている。内容としては同じものを用意してもらうことが前提で、特別悪くなったという話は聞いていません。医者 の 検食でも、大変良いという評判です。

#### 委員

委託して経費を下げれば、サービスが低下するとよく聞きます。そういう事がなければいいと思います。管理者先生が来てくれて事は、画期的でよかったと思っています。

#### 委員

サービスという言葉があったが、資料にも医療サービスとか患者サービスというのがあります。このサービスというのは無料なのか。心なのか。今はボランティアもゼロということはないです。たぶん心でしょうね。なかなか7対1とか13対1は大変だと思う。相当すてきなハートがないと辛いものがあると思います。とても大切ですね。

#### 委員

病院の給食の委託について、栄養士はこの職員の献立を決めているのでしょうか。それとも委託された業者が決めているのですか。

事務長（田沢湖病院）

田沢湖病院も角館病院も両方に栄養士が配置になっています。業者側と事業者側に。今までと変わらない栄養士がおります。委託した段階で新たに業者側に栄養士がつかます。献立は病院側で主なものは作成しています。

委員

現在、角館病院の小児科外来の状況はどうなっているのか。

事務長（角館総合病院）

小児科について、22年度は常勤医がいましたが、今年からいなくなり、非常勤で秋大から週3日（火曜、水曜、金曜）来てもらっています。

委員

週5日間開業できる目処はまだ立たないのですか。

事務長（角館総合病院）

秋田大学の医局の方から常勤の先生が要請に応じて来てくれればいいのですが、医局自体も医者が少ない状況なので、常勤医がほしいのは山々です。

委員

今後を期待しています。

委員長

仙北市の2つの病院に、常勤の医師を増やそうとしていると思いますが、見通しについてなにかないですか。

病院事業管理者

今私が来て動き始めたところですが、見直しと言っても、診療研修の制度が変わり、医師がまったくたりない状態であります。特に秋田県はまったくたりない。驚いています。県や大学に何度か行っていますが、医局が空っぽである。私のいた信州大にはたくさんいて、研究室の機械が動いていたが、秋田大は人がいません。教授1人に助手1人という感じで、ホコリかぶった機械がたくさんありました。何とかしのいで他の病院との掛け合いもあるが、なるべく秋田からの医師を招聘したいと考えています。何年でいくらとは今は言えませんが、少しずつ頑張ってみます。

委員長

期待しています。

委員

ジャガー横田さんの旦那さんが来ていると聞きました。ある意味非常にいいコマーシャルになるのではないのでしょうか。先生の講演会など行えば、病院のイメージアップの一つの材料になるのではないのでしょうか。

事務長（角館総合病院）

確かにいらしています。講演会等は、今のところ考えてはいないです。

委員

期限は決まっているのですか。

事務長（角館総合病院）

特に期限は決まっています。

事務局（医療局）

今の講演会の件について、資料6の2再編・ネットワーク化⑨にあります。昨年11月13日に角館の伝承館で、「市民の医療と健康を考える会」を仙北市医療協議会で市民フォーラムを開催しています。今年1月から病院事業の中に医療局ができましたので、医師会の方からも医療局とタイアップして講演会を継続したいと申し入れがありますので、講師の先生にその先生がお願いできるかは別にして、その中で論議して、地域の皆さんと医療を考えていくイベントについては開催する予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

委員

この間の大震災の時、病院内の不具合とか被害とかはなかったのでしょうか。

事務長（角館総合病院）

角館病院は、特にありませんでした。

事務長（田沢湖病院）

田沢湖病院も停電以外、故障箇所はありませんでした。

委員

病院の医師が、仕事をしている場を管理者側の方々は、実際に見たりする機会はありますか。

病院事業管理者

週に1回は田沢湖、角館の方を回って、あいさつしたり指導したりしていますが、患者さんがいるので、深い話まではできないでいます。ただし医師、看護師が私の顔を見て勇気づ

けられるのではないかと思います。この間両病院で話し合いをしまして、これからの医療に対してどのようにしていくのかと皆さんで考えたところであります。

委員

私は薬で田沢湖病院にお世話になっていますが、先生があっちこっち動いて見ないといけないぐらい、朝から動きっぱなしだった。患者さんはイスに座って待っていて、そっこの部屋見て、こっちの部屋見て回って、ものすごくびっくりしました。全部の曜日じゃないかもしれないが、すごいハードな仕事しているなとつくづく感じました。

委員長

他にございませんか。

委員

数字の中からも、ギリギリのスタッフでいろんなやりくりをして努力をされているのが、説明からも見えて感心している所です。ただこの後、冬になると、インフルエンザとかいろんな感染の心配がある病気が増えて、忙しくなってくると思います。心配なのは去年県北の方であった院内感染の発生です。忙しくなってくるとそういうところが、おそろかにならないか心配している所です。是非、経費削減、スタッフの適正化も重要だが、あまりにも切りつめて良からぬ方向へ向かわないように、今後もよろしくお願いします。

委員長

資料6の中で皆さん何かございませんか。なければ資料6を終わらせていただきます。次にその他というところがございますので、何でも結構ですので、出していただけないでしょうか。

委員

資料7の決算状況で田沢湖病院について、売上げの3倍ぐらい経費が増えていますが、内訳はなんですか。医業費用がすごい上がっていますが、さっき説明いただいた点数の関係なのでしょうか。売上げは2千万円あがっているが、経費が6千万円ぐらい上がっている。

事務局（医療局）

細かい要因はいろいろありますが、一番大きなものは、ドクター1人増えた事による人件費の増です。おおよそ3分の1ぐらいと思われます。収入の増分になっている要因は、診療単価をあげたという病院の努力ではないかと思います。医業費用については、原油製品を主にした光熱水費、燃料費の増が原因と考えられます。細部についての内容は多々あるかと思いますが、そのようなことが主な原因だと思います。

委員

先生の給料は医業費用に入るとのことですね。職員の方々は職員給与費ということですね。納得しました。

事務長（田沢湖病院）

ちょっと付け加えますと、常勤医が1名増になったことと、非常勤医師の単価の見直しがあり、その分人件費で3千2百万円ほど増額になっています。材料費については入院患者が増えたことにより、診療材料、給食材料の経費も当然上がっているということです。後は先ほど説明のあった石油製品の値上がりを目安とすると、6千5百万円ぐらいの経費増になっています。収入で2千万円ぐらい増になっていますが、経費の分を引いて4千4百万円の赤字の増となっています。合わせて8千8百万円の赤字となっております。

委員

未収の経過と、その回収等についての資料はないでしょうか。

事務局（医療局）

資料はございませんので、各病院から説明してもらいます。

委員長

それでは最初に角館病院、その後田沢湖病院から説明をお願いします。

事務長（角館総合病院）

未収金については、杉澤課長より説明します。

総務管理課長（角館総合病院）

一般未収については、5億3千7百万円ですが、診療報酬が2ヶ月遅れで入ってきます。未収対策については、資料6にあります院内医療対策協議会において徴収規定を作成し、未収金対策を強化するという事で、マニュアルを作成し、未収金を発生させないことを大原則に、発生した場合は速やかに対応するという事になっております。

委員長

5億3千7百万円の未収金に対して、実際国保、社保から入ってくるのを差し引いたほんとの未収金はどれぐらいなのか。

総務管理課長補佐（角館総合病院）

入院外来患者未収については、21年度末で43,196,000円ありました。22年度末で、39,696,000円、350万円ほど未収金が解消しています。

事務長（田沢湖病院）

田沢湖の方は決算で1億3千3百何十万円ほどありますが、実際に保険診療等をのぞいた分は、6,610,830円です。これについて回収は現在4,497,600円、2,113,230円残っている。210万円ほどは平成19年度以前で未収になっています。

委員長

これには、時効とか発生するのですか。

事務長（田沢湖病院）

地方税法でいう5年時効とかで18年度までは処理していた部分ですが、私債権という裁判事例が出まして、消滅するためには条例規程を作って、議会の承認を経て抹消しなければいけない。それをやらない限りいつまでも不納欠損できません。手続きできないでいるという状況であります。市の方でも委員会等で検討中です。それができれば、不納欠損すべきもの、死亡した方等徴収不能な部分を不納欠損していくという感じです。

委員長

今日の資料、推進計画に対してかなりの進捗したものと考えられます。なおこの後も進めていくことだと思いますが、大変ご難儀なことだとわかりますが、なお一層の努力をお願いしたいと思います。病院事業管理者もあちらこちら歩いて下さるということでしたので、なおさらご難儀をかけると思いますが、皆さん一体となって、この次はさらに進捗率が良くなるようご期待申し上げて、今日は終わりたいと思います。今日はお忙しの中、大変貴重なご意見、ご質問等をいただき、検証市民委員会が終わることができました事に感謝申し上げます。終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

病院事業管理者

いろいろなご意見をいただき、参考になりました。ありがとうございました。

（終了 14:55）